

人道支援従事者への暴力に終止符を!

アフガニスタンでは、2015年になって、様々な原因や主体が関わるいくつかの事件の中で、8人の人道支援スタッフが殺害され、16人が負傷している。

ACBAR はすべての主体、政府、反政府勢力、独立した主体に対し、人道支援従事者の死傷を引き起こすような敵対行為の中止を呼びかける。

アフガニスタンの状況は、アフガニスタン人にとっても、人道支援従事者にとっても、いまだに不安定であるが、人道支援従事者はアフガニスタン人びとのためのプロジェクト実施を続けている。不安定な治安は、アフガニスタンにおいて、市民にとっても人道支援従事者にとっても大きな挑戦となっている。

こうした挑戦にも関わらず、NGO 団体は支援を必要とする人びとへのサポートに尽力してきた。

私たちは、犠牲となった方々の家族、同僚、友人、そして人道支援従事者・団体全体に哀悼の意を表す。

ACBAR は、アフガニスタンにおける人道支援従事者に対するいかなる攻撃、威嚇、暴力または脅迫への強い非難をあらたにするものである。

ACBAR は、人道支援団体が、民族、宗教、政治的信条に関わりなく、支援を最も必要としているアフガニスタンの人々に対して、強く必要とされている支援を届けるために、公平かつ独立して活動していることを繰り返し確認する。

アフガニスタンの人びとは世界でも最悪レベルの貧困状態にある。人びとは自然災害に非常に脆弱であり、また現在、30年以上国土を荒廃させてきた紛争の激化に直面している。こうした状況において、国内および国際 NGO とも、アフガニスタンの34の全ての州において、他の支援主体にとってはアクセスが限られているか、ないような地域であることも多いが、支援を必要としている人びとに必要な救援や開発支援を行っており、また今後も行おう。

どのようなものであれ、人道支援従事者、その利益、その利益を受ける人びと、資産に対する攻撃、威嚇、暴力や脅迫は、結局、支援の履行の遅れをもたらすことになる。それはアフガニスタンの人びとの福祉、とりわけもっとも脆弱で周縁化された集団の福祉にとって負の影響をもたらすものである。

翻訳: 竹村謙一 (JVC アフガニスタン事業インターン)

監訳: 小野山亮 (アフガニスタン事業統括)

.....
【注】 ACBAR (アクバル) (Agency Coordinating Body for Afghan Relief & Development)

- アフガニスタンで活動する135の国内・国際NGOのネットワーク団体。JVCも加盟団体。
- ACBARウェブサイト: <http://www.acbar.org>
- ACBAR本声明原文: <http://www.acbar.org/news/106/Violence-against-aid-workers-must-end-.html>